

8341 は、やさしい

私が中学校や高校で歴史の勉強をしていた頃、いつどんなことが起こったかをたくさん覚えなければなりませんでしたが、でも、593年や710年、1010年、1543年など、数字を覚えることはとても大変です。そんな時に役に立つのが「語呂合わせ」という方法です。

「語呂合わせ」は、数字を覚えるための方法です。例えば「593」を「ご・きゅう・さん」や「ごひゃくきゅうじゅうさん」と読まずに、「ご・く（ろう）・さん＝ご苦労さん」と読んで、一つの意味のある言葉に変えて覚える方法です。

この「語呂合わせ」は、勉強のとき以外にも役に立ちます。例えば、鍵を開けるときに暗証番号などを覚えるときに便利です。例えば8341は「や・さ・し・い」と覚えることができます。8の読み方は「はち」「はっ（こ）」「やっ（つ）」などいろいろありますが、ここでは「や」という音を使いました。3の読み方は「さん」「みっ（つ）」などがありますが、ここでは「さ」という音を使いました。4は「し」、1は「い」という音を使いました。全て合わせると「や・さ・し・い＝優しい」になり、8341を「はち、さん、よん、いち」と覚えるよりもずっと簡単に覚えることができます。

日本語の数字は、いろいろな読み方があるので、「語呂合わせ」を作りやすいです。語呂合わせを作るときは、「さん」の「さ」だけを使ったり、「いち」の「い」だけを使ったり、10を英語の **ten** のように「てん」と読んだり、自由な考え方が大切です。例えば 1031 は「てん・さ・い＝天才」と読むことができますね。他にも、4649 は「よ・ろ・し・く」、4690 は「し・ろ・く・ま」（最後の 0 は「まる」の「ま）」など、おもしろい語呂合わせを自由に作ることができます。

最近「語呂合わせ」のアプリもあるようです。数字を入れれば、自動的に、その数字に合う「語呂合わせ」を考えてくれるアプリです。私も最近、自分の車の番号や、家族の電話番号を覚えられなくなってきたので、語呂合わせアプリを使ったり、自分でおもしろい語呂合わせを考えたりして、数字を覚えたいと思っています。

(845 字)

(2022.6 Written by Junko SATO)



この作品はクリエイティブ・コモンズ 表示 - 非営利 - 継承 4.0 国際 ライセンスの下に提供されています。この作品を利用する場合は、「たどくのひろば」を出典として示してください。

例) 出典: 「たどくのひろば」 (<https://tadoku.info>)

This work is licensed under a Creative Commons Attribution-NonCommercial-ShareAlike 4.0 International License. When you use this work, please indicate the source as in the example above.